

添付資料①
金閣寺音舞台出演者プロフィール

ラッセル・ワトソン
Russell Watson
(ヴォーカル)

しなやかな歌声と抜群の歌唱力で、世界を舞台に活躍しているイギリスの若手ヴォーカリスト。プレミアリーグをはじめ、大観衆が注目する大会や式典で歌声を披露し、また2000年のデビューアルバム以来、全世界で500万枚以上のアルバム売上を記録するなど、驚くべき成功を収めている。ポップスからクラシックまで幅広いジャンルでファンを魅了している。

和央ようか
Yoka Wao
(ヴォーカル)

人気・実力ともに随一のスターとして一世を風靡した、元宝塚歌劇団宙組の男役トップスター。退団後も声量豊かな歌声と歌唱力のうまさ、そして都会的な魅力で、コンサートを中心に活動中。当代の輝く女性のひとりとして、多方面から注目を集めている。

観世流家元 観世清和
Kiyokazu Kanze

二十六世観世宗家。能楽師としての比類なき才能で、今日の能楽界を率いるリーダーとしての役割を担う人物。日本および海外で公演を数多く行ない、魅了された観客は数知れない。受賞も多数。観世流とは、能の派閥の中で最も大きなグループであり、その始祖は14世紀に能を演劇として大成させたとして知られる観阿弥と世阿弥の親子である。

加古隆
Takashi Kako
(ピアノ)

日本を代表する作曲家のひとりであり、また音色の美しさから「ピアノの画家」とも形容されるピアニスト。クラシック・現代音楽・ジャズの要素が一体となった独自の音楽スタイルで、国内外で活躍。精力的にコンサートやアルバム制作を行なうだけでなく、テレビ番組のテーマ曲や映画音楽の世界でも高い評価を得、才気あふれる活躍が注目を浴びている。

古澤巖
Iwao Furusawa
(ヴァイオリン)

クラシックからジャズ、ポップスまで、類まれなるテクニックに大胆なアレンジ、そして自由奔放なステージ展開で人気を博しているヴァイオリニスト。音楽だけでなく他分野のトップ・アーティストとも共演を行うなど、国内外で精力的に活躍の場を広げている。独自の才能溢れるインストゥルメンタル・ミュージックで多くのファンを魅了している。

以上